

高速漁業取締船「あまくさ」が就航

天草、有明海、特に大矢野町湯島付近を中心とした海域は、タイの一本釣りの好漁場ですが、近年県外ゴチ網漁船の本県海域への侵犯操業等が多くトラブルが相次いでいます。

このため県では、最高速力27ノットで最新式のレーダー、無線機、その他の取締り器材を搭載した「あまくさ」を3月1日から就航させました。「あまくさ」の配備により、4海域4隻の取締り体制となり、従来の一船当りの取締海域が縮小されたので、今後の違反漁業の未然防止、漁場の秩序維持などの対応に関係者の期待がよせられている。



友好交流の成果をあげた “みどりの使節団”

(熊本—ソウル線の利用を)

はじめに

国際化時代を迎えて地域の発展に影響力の大きい熊本空港の国際線振興を図り、併せて林業技術の交流や貿易の拡大等を促進するため北里達之助熊本県森林組合連合会副会長を団長とする林業団体（森林組合、椎茸生産組合、樹芸木生産組合、造園建設業組合）の代表からなる一行四十七名が五月六日から五月八日まで韓国を訪問し友好の諸行事や今後の交流について打合せなどを行いました。

林業関係者あげての歓迎

熊本県林業団体交流使節団一行は五月六日空路ソウル市に到着。韓国林業関係者に心暖まる歓迎を受け、山林庁庁長への表敬訪問や友好交流のための話し合いのほか、ソウル市内の子供公園（山林組



現地での分科会

合事務所正門附近一帯）に友好のしるしとして千原桜二十本、イチヨウ十本を「熊本の森」として、日・韓林業関係者が和気あいあいの中で記念植樹をしました。また、水原の林木育種場では韓国の風土に適する成長の早い樹種（リキテータ松、イタリアポプラ、朝鮮ゴヨウ松など）の選木や改良に取組まれている様子に接し、その熱意に感動させられました。

林業の友好交流

今回の訪韓の大きな目的の一つは交流事業の促進を図ることにあつたので、関係者は三つのグループに分かれ、それぞれの分科会で次の具体的事項について終始友好的雰囲気です話し合いが進められました。

- 一、造林・育林技術の交流と間伐材の貿易
- 二、韓国南部地域に経済林の造成
- 三、椎茸の栽培と乾燥技術の交流
- 四、椎茸原木・乾椎茸の貿易
- 五、造園・造景技術の交流と造園材料の貿易
- 六、造園研修生の受入れ

韓国の森林・林業の現状を理解するにはあまりにも短時間でしたが、韓国は荒廃した山林の復旧、緑の森林造成から経済林の造成への移行、林産物加工技術の向上等が当面の課題であることを認識しました。従って今後、民間ベースによる林業技術の交流を図る必要を痛切に感じました。このことは、韓国山林組合中央会全羅南道支部が熊本県森林組合連合会と姉妹関係を締結することを念願してい



記念植樹「熊本の森」

ることに現われています。さらに又このことが、単に技術交流にととまらず将来、研修生の交流等を通じて、貿易の拡大にもつながることになり併せて本県の国際線振興と観光振興にも寄与することが期待できるのではないかと思われま

むすび

今回の韓国訪問は各種民間団体の友好関係を作るための一つのケースとして、その糸口をみつけただけで、今後このような民間レベルでの友好交流が大きな輪となつて進められ、国際線振興を促進されるよう念ずる次第です。